

児童の学びの足跡「ESDルーム」

学習に関わりのある教材や作品の展示、学習の成果を発信するスペースとして活用する。見る・触れる・遊ぶなどの活動や体験ができる交流の場とする。

■ 取組のねらいと『ESD』『自分ごと化』との関連

自立 学習内容や成果を発信し、自分の学びを振り返ることで達成感を味わう。

共生 各学年の学びの成果を共有し、自分にできることを考え、行動につなげる。

■ 取組の内容

学習のまとめを活用して、
学びの成果を発信する場



大森のまちを見直して、「安心未来マップ」を作りました。
安全なまちになることを期待しています。

「ふるさと浜辺公園」の砂にも
マイクロプラスチックがある
ことが分かりました。もっと詳
しく知りたくなりました。

他学年の取り組みに興味や
関心をもち、体験や参加をする場



異学年が関わり合い、
学びの交流をする場

5年生が作った
カードで遊びなが
ら、海ゴミのこ
とを知ってほ
しい。



ゴミにもいろいろな種類が
あることが分かりました。

学んだことを「大森第一未
来ラボ」でもっと詳しく伝
えたい。

■ 取組の成果

- ESD ルームの展示を見たり、実際に触れたり、遊んだりする活動を通して、楽しみながら他学年の学習内容を知り、学びを共有する姿が見られました。
- 学習の成果を伝えることで、新たな成就感を味わい、持続可能な社会の実現に主体的にかかわろうという思いを持ち続けることにつながりました。